

## 平成30年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1	中央図書館・分館の来館利用
------	---	---------------

重点課題	1 図書館サービスの可能性や活用方法のPR強化 2 館内利用環境の整備 3 資料の展示の工夫 4 大規模改修工事時の分館への利用移行を検討、広報で促す。 5 大規模改修工事後のサービス展開を見据えた準備
------	---

具体的な取組内容	<p>【中央図書館】          (課題1) ホームページやツイッターを活用したPRの強化を行った。図書館だよりは月に2回、年間22回、ツイッターはスポットで25回、随時お知らせをするほかにも、休館やサービスの広報を定期的に出す仕組みを取り入れた。          (課題2、3) 特設展示コーナーのほか、雑誌のバックナンバーをテーマ展示するなどの工夫を行った。          (課題4) 大規模改修工事の休館中、予約資料の受取・返却を行う臨時窓口を開設する一方、分館が大部分のサービスの窓口になることを広報した。          (課題5) 大規模改修工事後のサービス展開の検討を行った。</p> <p>【分館】          (課題1) ホームページ内の「分館だより」のページを合計19回更新し、ツイッターは合計98回発信した。特に猫実分館では、リニューアルオープン前の期間に、主に施設の工事進捗などのニューアル情報をツイッターを活用して合計74件のツイートを行った。また、美浜分館では、イベント情報等のツイートを20件行って、リツイート数は31件にのぼるなど、利用者からの反響があり、一定の成果があったと考えられる。          (課題2、3) 各分館の所蔵資料を活用したテーマ展示や、公民館イベントに関連した資料展示を行って図書館利用の促進に努めた。7月よりリニューアル開館となった猫実分館では、ミニ展示コーナーを館内複数箇所に設置したほか、各分館では、中央図書館の保管資料の効果的な展示やツイッターによるPRを行うて利用促進を図った。          (課題5) 中央図書館の基本図書や利用頻度の高い資料等を保管できるように各分館の書架スペースの確保に取り組み、中央図書館休館後の1月より合計3万冊の資料の保管・運用を市内分館で行うことができた。</p>
----------	---

量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数 (中央館) 305,000人～310,000人 *4～12月の9か月間</li> <li>・貸出利用者数 *分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とする (分館) 320,000人～340,000人</li> </ul>
------	---

平成30年度結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数 【中央図書館】 274,537人</li> <li>【分館】</li> <li>・貸出利用者数 330,794人</li> </ul>
----------	--

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館大規模改修広報</li> </ul>
------	---

参考数値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央館来館者</td> <td>434,832</td> <td>425,536</td> <td>407,426</td> <td>274,537</td> </tr> <tr> <td>浦安市人口 (4/1現在)</td> <td>163,719</td> <td>165,411</td> <td>167,463</td> <td>168,852</td> </tr> <tr> <td>市民1人当り来館回数</td> <td>2.7</td> <td>2.6</td> <td>2.4</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>分館貸出利用者</td> <td>326,950</td> <td>322,489</td> <td>318,253</td> <td>330,794</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">*H30年度の来館者数及び市民一人当たりは12月までで算出</p>		27年度	28年度	29年度	30年度	中央館来館者	434,832	425,536	407,426	274,537	浦安市人口 (4/1現在)	163,719	165,411	167,463	168,852	市民1人当り来館回数	2.7	2.6	2.4	2.2	分館貸出利用者	326,950	322,489	318,253	330,794
	27年度	28年度	29年度	30年度																						
中央館来館者	434,832	425,536	407,426	274,537																						
浦安市人口 (4/1現在)	163,719	165,411	167,463	168,852																						
市民1人当り来館回数	2.7	2.6	2.4	2.2																						
分館貸出利用者	326,950	322,489	318,253	330,794																						

<p>図書館 自己評価</p>	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月から総合駐車場の公園転用工事により、車や自転車での来館に支障が出たほか、囲いが中央図書館の工事で間違えられるなどの問題が生じた。まだ開館中であるという広報（ポスター、囲いに開館表示、ホームページ・ツイッター）や、臨時駐輪場の設置などの対策を行ったが、入館者数の4～12月の合計は274,537人となり、目標に1割及ばない結果となった。</li> <li>分館へのサービス移行は早い段階から取り組むことができた。</li> </ul> <p>【分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用促進のための資料展示やイベント等の情報発信については、ツイッターやホームページを活用することによって、細やかに行うことができた。特に7月よりリニューアル開館となった猫実分館では、休館・開館情報や資料展示等についてのPRを随時ツイッターで発信することで利用者の反応もあり、効果的なPRができたと思われる。</li> <li>中央図書館の基本図書をはじめ、利用頻度の高い資料や地域資料等を保管できるよう、各分館の書架スペースを確保し、合計約3万冊の資料を分館で運用することができた。中央図書館の蔵書や、リクエストの受付などを求めて来館者が増えた。</li> </ul>
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館活動は単に貸し出し利用者数を増やすことのみならず、従来から注力されている「レファレンスサービス」の充実や、「資料展示のテーマ内容」の充実を図るべきで、今後も増加が見込まれる高齢者のニーズを的確に捉えセミナーや座談会の開催を数多く企画する等、今年度以降の取り組みに大いに期待したいと思います。</li> <li>「市立図書館」から「市民図書館」へイメージチェンジをお願いするとともに、期待しております。</li> <li>中央図書館休館に伴いさまざまな業務が発生したことと思う。来館者が目標値を下回ったこと、近年「市民一人あたり来館回数」が減少傾向にあることは気になる。今後、所蔵資料や利用者の観点から要因の分析を深めていくことも必要になってくると思う。</li> <li>中央図書館・分館ともに、「重点課題」に掲げた項目をふまえ、創意工夫を凝らしながら来館利用の促進に努めていると感じた。中央図書館の来館者数が目標値に1割ほど届かなかったということだが、大規模改修という「明白な要因」によるものであり、必要な対策も講じられていたことから、致し方ない結果として受け止めてもよいのではないかと。</li> <li>分館において「公民館イベントに関連した資料展示」が行われていることは、市民の学習活動を支援する上でも極めて重要だと考える。全公民館に図書館（分館）が併設されていることは、浦安市の社会教育機関の強みのひとつであり、今後も、こうした取り組みが拡充し、両者の連携が更に深められていくことを期待する。</li> <li>浦安市は、住民の平均年齢が若い自治体ではあるが、この先、高齢化が進行していくものと思われる（既に高齢化が進んでいる地域もある）。こうした状況の中で、超高齢者社会の到来を見据えた図書館サービスの在り方について本格的に検討していくことが、来館利用の促進にもつながるのではないかと。認知症の住民も視野に入れた「高齢者サービス」の確立を期待する。</li> <li>来館者が少しずつ減っているのが気になる。日本の公共図書館全体でも資料の提供数が減っているの、浦安だけに限ったことではないと思うが、何が原因なのか、どのような傾向にあるのかなどの分析をしたいところである。来館者だけでなく、資料提供数（＝貸出点数）も指標に挙げていただけるといいかと思う。</li> </ul> <p>また、比較のために、全国の図書館の平均値も（分かる範囲で）示していただけるといいかと思う。</p>
<p>改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館の大規模改修を経て、新たな施設利用の提案、周知を行い、展示や行事を通じて利用や来館を促す。</li> <li>公民館との連携を継続し、公民館イベントに関連した資料展示を行い、市民の学習活動を支援する。</li> <li>高齢者比率が高い地域の分館で、高齢者に寄り添った展示を行う。また、認知症の利用者及び家族等への対応について、認知症サポーター養成講習への職員（未受講者）参加のほか、認知症に対する知識・情報提供のための展示等に取り組む。</li> <li>量的指標または参考数値に、他の図書館と比較を入れ、浦安市立図書館のサービスレベルを表す。</li> </ul>

## 平成30年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	2	レファレンスサービス																														
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 レファレンス事例の公開</li> <li>2 EレファレンスのPR強化</li> <li>3 各種事業用のパスファインダー（調べ方案内）作成</li> <li>4 よく質問される「レファレンス基本」パスファインダーの作成</li> <li>5 データベースの利用促進</li> </ol>																															
具体的な取組内容	<p>（課題1）国立国会図書館運営の「レファレンス協同データベース」に、レファレンス事例及び調べ方マニュアル等の事例登録を、52件登録した。</p> <p>（課題2）EレファレンスのPRは、図書館利用講座やパスワード発行時に行い、42件回答した。</p> <p>（課題3、4）各種パスファインダー（調べ方案内）を作成し、関係機関や利用者に提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館で開催される「コミュニティ・カレッジ・うらやす」へ4件</li> <li>・「うらやす市民大学」へ18件</li> <li>・浦安商工会議所との共催事業「創業支援セミナー」へ21件</li> </ul> <p>（課題5）図書館報第30号で、「新聞記事の検索」をテーマに取り上げ、広報を行った。利用者からの問い合わせに対し、企業情報や新聞記事検索等のデータベースを積極的に活用した。中央図書館休館中は分館で受付した事例について、調査・回答した。</p>																															
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス件数（全館の合計） （調査回答）1,100～1,300件 （Eレファレンスを含む）</li> </ul>																															
平成30年度結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス件数（中央図書館、分館調査回答） 1,028 件</li> <li>・レファレンス回答に対する利用者の満足度調査では、対応した職員の主観的評価ではあるが、「満足」「◎」、「どちらかといえば満足」（○）が87.4%であり、満足度を維持している。（中央図書館）</li> </ul>																															
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レファレンス事例</li> <li>・パスファインダー（調べ方案内）</li> <li>・図書館報</li> </ul>																															
参考数値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">1か月あたりの平均受付件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">中央図書館</td> <td colspan="2">分館(全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査回答</td> <td>所蔵調査・ 資料紹介</td> <td>調査回答</td> <td>所蔵調査・ 資料紹介</td> </tr> <tr> <td>4月～12月</td> <td>79</td> <td>4,452</td> <td>16</td> <td>3,790</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>5,550</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(単位: 件)</td> </tr> </table>		1か月あたりの平均受付件数						中央図書館		分館(全体)			調査回答	所蔵調査・ 資料紹介	調査回答	所蔵調査・ 資料紹介	4月～12月	79	4,452	16	3,790	1月～3月	20	30	39	5,550					(単位: 件)
1か月あたりの平均受付件数																																
	中央図書館		分館(全体)																													
	調査回答	所蔵調査・ 資料紹介	調査回答	所蔵調査・ 資料紹介																												
4月～12月	79	4,452	16	3,790																												
1月～3月	20	30	39	5,550																												
				(単位: 件)																												

<p>図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス件数は、中央図書館大規模改修工事による休館の影響で減少したが、分館の調査回答等が増え、中央図書館は分館の調査回答のバックアップを行った。レファレンス回答に対する利用者の満足度調査では8割を超えた満足を得ることができた。</li> <li>レファレンス事例やパスファインダーを活用したレファレンスのPRについては十分ではなかったため、継続して取り組む。</li> </ul>
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンスサービスは、統計のとり方が確立していないため、評価の指標にするのは難しい側面はあるが、毎年、事業評価の対象にしていることが評価できると思う。日本ではまだまだのサービスではあると思うが、住民にとって非常に大切なサービスだと思う。サービスのPR、実践に力を注いでいただきたい。サービスを経験した住民の満足度は高いと思う。</li> </ul>
<p>改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会図書館のレファレンス協同データベースでの公開に限らず、年齢や目的が異なる利用者に広く周知できるよう、レファレンスサービスのPRを進める。EレファレンスのサービスについてもPRの方法を工夫する。</li> <li>リニューアルオープンに向けレファレンス室の資料の配置を見直し、より調べものがしやすくなるように工夫する。また、可能な範囲で事例公開やパスファインダーの作成を進める。</li> <li>レファレンスサービス研修を進め、満足度の高いサービスを提供する。</li> </ul>

## 平成30年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	図書館ホームページ
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンテンツの充実と適切な更新</li> <li>2 現在の運用条件の中での利便性の向上</li> <li>3 SNS等他の媒体との効果的な棲み分けと連携によるアクセス数の向上</li> <li>4 中央図書館大規模改修工事の内容や進捗状況に関する積極的な広報</li> </ol>	
具体的な取組内容	<p>(課題1) お知らせ・イベント(NEWS)等の更新を、147回行った。</p> <p>(課題2) アクセス・施設案内のページの改定を行い、Google Mapを外部リンクとして表示できるように変更した。</p> <p>(課題3) 浦安市立図書館ツイッターに637件のツイートを行った。アクセス数の向上のため、ツイッターとホームはリンクをはっている。</p> <p>(課題4) 中央図書館大規模改修工事に合わせ、中央図書館休館情報のページを新設し、関連する情報を掲載した。</p>	
担当係	レファレンスサービス係	
関連予算	図書館電算処理経費	
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ホームページ</li> <li>ページビュー回数 945,000~965,000回</li> <li>コンテンツ更新回数 120回(概ね月10回)</li> </ul>	
平成30年度結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページビュー回数 1,052,663回</li> <li>・コンテンツ更新回数 147回</li> </ul>	
参考資料	浦安市立図書館ホームページ <a href="http://library.city.urayasu.chiba.jp/index.html">http://library.city.urayasu.chiba.jp/index.html</a>	
図書館自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ホームページのページビュー数については、目標とした945,000~965,000回を上回ることができた。中央図書館大規模改修工事に関する情報を集約するページを設けるなど、利用者にとって有効な情報を提供できるよう、取り組むことができた。</li> <li>・ツイッターによる図書館からの情報発信は、637回のツイッターに1,112件の「いいね」、236件のリツイートがついた。ツイッターからのプロフィールへのアクセスは5,505件となった。今後も、SNSの特性を生かした情報発信に取り組んでいきたい。</li> </ul>	

<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来以上に一般市民からの図書館に対する期待意見、応援メッセージを集約する機会を増やしていただきたい。集約された感想・意見についての反応・反響を図書館のホームページに掲載する工夫を検討していただければと思う。</li> <li>・積極的な情報発信は評価できる。図書館ホームページについて、スマートフォン用とPC用が別々に作られているようだが、近年はいわゆるレスポンスデザイン（デバイスに依存しない画面デザイン）が主流になっている。システム更新などの機会に共通化する方向も検討してはどうかと思う。</li> <li>・ホームページは洗練されたデザインで操作性もよく、日頃ネットを利用している者にとっては容易に使いこなせるが、不慣れな利用者には敷居が高いかもしれない。しかし操作性を維持するためには現状のままでよい。</li> <li>・Twitterについては、内容の改善がみられる。市民と市民以外、年齢層などの分析も知りたい。利用者の関心に即したコンテンツの提供により、図書館への関心の低下を避ける一つの手立てになるとよい。内容はより親しめるものとし、スピードと件数の増加を望みたい。利用者の参加なども検討してほしい。</li> <li>・中央図書館の大規模改修情報の提供については、「図書館通信」などは評価できるが、どのようにリニューアルされるのか、その情報が少ないと感じた。</li> <li>・リンクについては、浦安市民の情報基地としては乏しい内容ではないか。書籍や読書支援に関するサイトを選択し紹介することが知のポータルサイトとしてのホームページの役割ではないだろうか。</li> </ul>
-----------------------	---

<p>改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、図書館ホームページについて、より多くの市民が図書館情報を容易に得られるよう、外部に向けて効果的な情報発信ができるよう取り組む。</li> <li>・スマートフォンでの情報発信の方法については、今後のシステムリプレイスでの導入も含め、検討を継続する。</li> <li>・リニューアル効果を高めるため、様々な手段を使って中央図書館リニューアルオープンに関する情報発信を積極的に行う。</li> <li>・ツイッターによる情報発信を継続し、より効果的な情報発信の検討に取り組む。</li> </ul>
---------------	---

## 平成30年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	4	子ども読書活動の推進
------	---	------------

重点課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもへの読書案内・読書相談の充実</li> <li>2 子どもに関わる大人に、子どもにとっての読書の大切さを伝える集会活動を実施し、図書館利用を促進する。</li> <li>3 類縁機関と連携した図書館サービスを実施する</li> </ol>
------	---

具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的なカウンターでの子どもへの読書案内や、保護者等への図書紹介などの充実に努め、大規模改修を見据えた中央図書館と分館の児童書の蔵書構成についても検討し、移管などの作業を進めた。</li> </ul> <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」など子どもを対象とした事業や、「絵本のよみきかせ入門講座」「子どもの本の講座」等の保護者等向けの各種事業を中央館の開館期間中に実施した。</li> <li>・保育園や育児サークルへ講師派遣を行い、絵本の選び方や読み聞かせの方法について説明し、図書館利用を促した。</li> <li>・「図書館クラブ」で図書館の仕事を体験した中高生を、図書館サポーターズとして登録するなど、特に図書館離れが始まる10代の生徒への働きかけを積極的に行った。</li> </ul> <p>(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全小・中学校、幼稚園、認定子ども園、保育園と連携し、よみきかせや図書紹介等を実施した。</li> <li>・中央図書館休館中の「ブックスタート絵本講座」を母子保健課が主催する「始めよう！離乳食クラス」で開催した。</li> </ul>
----------	---

量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童書貸出冊数（全館）40万冊～41万冊、児童1人当たり 16.0～16.4冊</li> <li>・児童関連集会事業参加者 延7,200～7,500人</li> </ul>
------	--

平成30年度結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童書貸出冊数 367,898 万冊、児童1人当たり 14.7 冊</li> <li>・児童関連集会事業参加者 延 5,653人</li> </ul>
----------	---

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童向け図書推せんリスト</li> <li>・児童関連集会事業開催報告</li> <li>・類縁機関サービス説明資料</li> </ul>
------	---

参考数値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">27年度</th> <th style="width: 10%;">28年度</th> <th style="width: 10%;">29年度</th> <th style="width: 10%;">30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童書貸出</td> <td>457,310</td> <td>440,506</td> <td>421,068</td> <td>367,898</td> </tr> <tr> <td>15歳以下人口</td> <td>25,985</td> <td>25,601</td> <td>25,406</td> <td>25,023</td> </tr> <tr> <td>児童1人当たり</td> <td>17.6</td> <td>17.2</td> <td>16.6</td> <td>14.7</td> </tr> </tbody> </table>		27年度	28年度	29年度	30年度	児童書貸出	457,310	440,506	421,068	367,898	15歳以下人口	25,985	25,601	25,406	25,023	児童1人当たり	17.6	17.2	16.6	14.7
	27年度	28年度	29年度	30年度																	
児童書貸出	457,310	440,506	421,068	367,898																	
15歳以下人口	25,985	25,601	25,406	25,023																	
児童1人当たり	17.6	17.2	16.6	14.7																	

<p>図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童書の貸出冊数は全館で367,898冊であり、前年度比で53,170冊（12.6％）の減少となった。中央図書館の大規模改修工事による休館が減少の大きな要因であるが、共働き家庭の増加だけでなく、小学校の児童育成クラブや放課後異年齢児童交流事業の増加など、子どもたちの放課後の過ごし方に変化が出ていると思われる。このような平日の来館者の減少は、児童書の貸出や集会事業への参加者の減少の要因となっている。</li> <li>・フロアワークの実施に努め、特に堀江分館、美浜分館ではおさんぽの途中に来館した保育園等の子どもたちに積極的に行った結果、児童書の貸出増加につながり、前年度比で堀江分館6％、美浜分館5％と貸出が伸びた。</li> <li>・館内展示を工夫し、年齢別のおすすめの絵本や季節をテーマにした絵本、近隣の絵本原画展や博物館での催しに関連した本を展示し、多くの利用があった。また、よみきかせに向く絵本のコーナーを設置し、学校でのよみきかせのボランティアの絵本選びの参考にもらった。</li> <li>・「ブックスタート絵本講座」については、開催場所と参加者の対象が変更になったことで、図書館を利用したことがない親子の参加があり、市内の図書館を紹介する良い機会となった。</li> <li>・小学校や保育園等と連携し、延べ17,127名の子どもたちによみきかせやストーリーテリング、ブックトークを実施し、子どもたちに本の楽しさを伝え、図書館利用を促すことができた。</li> </ul>
<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS、オンラインゲームなどの発達は、今後も進むことが予想され、同時に子供の読書量も2極化し、平均としては減っていくことが予想される。また、読解力の弱さは、各種学校児童生徒や大学生でも、大きな課題であるとの発表がある。</li> <li>・乳幼児から本、文学、言葉に親しませることが大変重要であると考え。図書館の存在意義は、その点から見ても、極めて大きい。本事業の継続、発展を願ってやまない。</li> <li>・学校、保育園等での読み聞かせはとてもよいと思う。個人としては、借りに行くのと10冊借りてはまた次10冊とまとめて借りてくるので、年平均14.7冊は驚いたが、小・中学生は学校の図書室を利用する子のほうが多いからかもしれない。</li> </ul>
<p>改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き学校や保育園等に通う子どもたちへ読み聞かせや本の紹介を行い、本に親しむ援助を行う。</li> <li>・読書離れの傾向がある中学生以上の世代に対して、図書館の利用案内や推薦図書リストの配布等を通して、本を手にする機会づくりと読書支援を続けていく。</li> <li>・類縁機関へのサービスを行う職員への研修を引き続き行う。特に地域の類縁機関との関係が強い分館担当者に対しての研修を強化していく。</li> <li>・乳幼児期に対して読書の習慣を築くブックスタート事業を、今後とも市民課・母子保健課等と連携して取り組む。</li> <li>・『（仮称）浦安市子ども図書館基本構想』に基づき、生涯学習課の（仮称）こども図書館準備室と連携して建物の設計やサービス運営の検討を進めていく。</li> </ul>



## 平成30年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	5	資料展示
重点課題	1 資料展示のテーマ・内容の充実 2 資料収集と連動した展示	
具体的な取組内容	【中央図書館】 ・書庫棟展示、及び一般開架室の展示のほか、時事的でタイムリーなミニ展示を随時行った。 【分館】 ・館内各所に一般向け・児童向けそれぞれに、季節や時事的なテーマを取り上げ展示を行った。	
質的指標	【中央図書館・分館利用者の声など】 ・堀江分館・・・「かこさとし」氏の追悼展示の際に、家族や子ども同士のコミュニケーションが弾むきっかけになった。 ・日の出分館・・・小説の冒頭1文を印刷した紙を本のカバーにして展示したところ、利用者から「面白いですね」との声をいただいた。 ・美浜分館・・・「発掘本」展示コーナーにあった本について、昔から探していた本と出会えたと感謝の手紙をいただいた。	
平成30年度結果		
図書館自己評価	書庫展示は例年のとおり、各蔵書構成グループがテーマ選定から完成まで時間と労力をかけた展示が多かった。展示ケースの前で展示目録や展示資料に熱心に目を通して利用者の姿も目立っていた。分館では、各館において、POPを使用したり、フリーペーパーなども取り入れて工夫するなど、利用者の興味・関心を集めるような効果的な展示を1年を通して継続することができた。	
図書館協議会委員欄	・書庫展示は毎回、テーマに沿った選書、それらの本を紹介する冊子の内容に力が入っており、高く評価できる。中央図書館のリニューアルオープン後も従来以上の展示内容を期待したい。 ・書庫展示に関しては、社会的、文学的、歴史的な、いわば生真面目なテーマを掲げることが多い。それに対し、一般展示では「ストレッチとマッサージで元気になるかもしれません」、「おいしいものがたりを集めました」、特設コーナーで「蕎麦をうつ」など、とっつきやすく身近なテーマも展開している。そのように全体として硬軟をおりませた展示のしかたは市民が親しみやすい図書館として望ましいありかただと思う。 ・小説冒頭1文を印刷した紙を本のカバーにした展示などもユニークで興味を引くものだし、今後もこの種の冒険に挑んでもらいたい。 また、武本住太夫や桂歌丸など芸術家や有名人の逝去、是枝裕和監督バルムドル受賞となど、その時々ニュースに応じたミニコーナーの設置も、その迅速な取り組みは来館者として嬉しいものだ。 ・ただ、「本屋大賞ノミネート作品」の特設コーナーを作るのはやめるべき。そもそも本屋大賞は、書店員たちが投票によって自分たちの一番”売りたい本”を決めるという趣旨の賞だ。売上低迷が顕著な出版・書店界が、商業的なテコ入れのために行っている販促キャンペーンという性格も持っている。それを図書館でコーナー化するのは、図書館＝「無料貸本屋」という批判を自ら招き寄せるようなものだろう。	

改善の方向性

- 書庫棟展示に関しては、今後もテーマ選定から完成までのプロセスに対して手を抜くことなく、展示テーマに関連した蔵書の点検という役割も維持しながら、利用者の期待とニーズに応えられる展示を行っていききたい。
- 一般開架室の一般展示、及び分館におけるミニ展示等に関しても、POP等を駆使してこまめに行っていくことを継続していくとともに、さまざまなアイデアを活用して常に新鮮、且つ興味をそそる展示を心がけていきたい。
- 「本屋大賞ノミネート作品」の特設コーナーについては、展示のアイデアとして活用していたが、今後は、いま話題の本、読みたい本等、ネーミングを変更して活用していきたい。